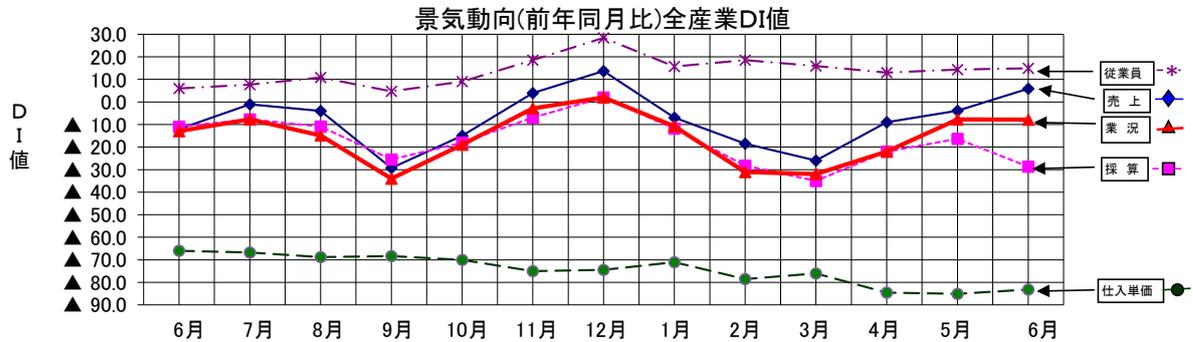


早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 6月分

【6月の概要】新型コロナへの警戒感薄れ、人流回復・売上増加傾向にあるが、原材料高騰により利益確保が難しい状況

業況判断を示すDI値は、「売上」で9.8ポイント改善しプラスに転じたものの、「採算」が12.3ポイント悪化（3ヵ月ぶりの悪化）、仕入単価は4ヵ月ぶりに改善するも依然として低水準。先行き見通しについては、「業況」が18.4ポイント改善（5ヵ月連続の改善）となっており、「従業員」は上昇を続け人手不足感が高まっている。

寄せられたコメントでは、新型コロナへの警戒感が薄れ、人流拡大、売上増加への期待感が高まっている一方、前月に引き続き、部品や原材料の不足、燃料費の高騰を指摘する声が圧倒的に多く、また、今後の節約志向の高まりを心配する声等もあった。価格転嫁も進まず利益確保が難しい経営状況が窺える。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2021年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	2022年6月
売上	▲12.0	▲1.0	▲4.0	▲29.3	▲15.0	3.9	13.7	▲6.9	▲18.5	▲26.0	▲9.0	▲3.9	5.9
採算	▲11.0	▲7.7	▲10.9	▲25.5	▲18.0	▲6.9	2.0	▲11.8	▲28.2	▲35.0	▲22.0	▲16.4	▲28.7
業況	▲13.0	▲7.7	▲14.9	▲34.0	▲19.0	▲2.9	2.0	▲10.8	▲31.1	▲32.0	▲22.0	▲7.7	▲7.9
仕入単価	▲66.0	▲66.8	▲68.8	▲68.4	▲70.0	▲75.0	▲74.5	▲71.1	▲78.6	▲76.0	▲84.5	▲85.1	▲83.2
従業員	6.0	7.7	10.9	4.7	9.0	18.6	28.4	15.7	18.5	16.0	13.0	14.4	14.9

- ・プラス幅が増加したDI値：従業員0.5ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナスからプラスに転じたDI値：売上9.8ポイント
- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価1.9ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：採算▲12.3ポイント、業況▲0.2ポイント

向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
4月	▲5.0	▲16.0	▲15.0	▲71.0	16.0
5月	2.9	▲16.4	▲12.5	▲67.3	16.4
6月	8.9	▲12.9	5.9	▲64.4	23.8

- ・見通しが改善したDI値：売上6.0ポイント、採算3.5ポイント、業況18.4ポイント、仕入単価2.9ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：従業員7.4ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	設備機器	世界的な物不足が深刻。顧客の要求に応えられずに築き上げてきた信頼関係が損なわれることが心配。
	リフォーム	コロナへの警戒感が薄れ、売上は増加傾向にあるが原価上昇により粗利益減が予想される。
製造業	鋼材	部品不足や納期遅れ、協力会社の人手不足等で、来年度に先送りになる案件が出ている。
	菓子	原材料の値上げ要請が後を絶たない中で価格転嫁を試みるが、収益改善には時間がかかりそうだ。
卸売業	石油製品	様々な商品・製品が値上がりしている。政府の積極的な経済政策が必要と思うが先の補正予算額は低すぎる。
	呉服	経済活動は徐々に回復に向かっていくと考えているが、燃料を中心に仕入価格の値上げが懸念材料。
小売業	衣料品	前年度に比べ、売上は20%増加したが、コロナ前（2019年度）に比べ20%の減少である。
サービス業	レストラン	5月は「地域のお店応援商品券」の経済効果もあり好調だった。人手不足が慢性化してきている。
	看板	原油・原材料価格の上昇で苦しいが、すぐに販売価格に反映することも容易でなく難しい状況にある。
	タクシー	人流拡大傾向に期待感はある反面、原材料価格の上昇により節約意識も高まっているようだ。